

第1回 地域部会 会議報告書

- 1 日 時 令和7年11月10日(月)15:00 から 17:00
- 2 場 所 入間市庁舎5階 第3委員会室
- 3 出席者 黒古部会長、粕谷副部会長、岡内委員、川野委員、西尾委員
【オブザーバー: 今井会長・荻野副会長】
- 4 欠席者 金平委員
- 5 記録者 小俣
- 6 内 容

① 部会委員と現在の取り組みの紹介を兼ねての自己紹介

② 地域部会の福祉計画策定に向けた検討 (案)

※時間に制限がある。分担し課題を抽出して、次回部会で検討する案で了解をいただく。(着目したところ、課題等について次回部会で発表)

全体統括、レジュメ作成、他(黒古部会長) 全体統括補佐(粕谷副部会長)
事務局(障がい者支援課 小俣)

基本方針1 健康とくらしを守る施策

(1) 全ての障がい者に対応した重層的な支援体制の構築 (西尾委員)

1)地域生活支援の充実を図る

(2) 地域で安心できるくらしの支援 (岡内委員)

2)いざという時のための支援体制を作る

3)災害時に安心して避難生活を送るために

基本方針2 地域で暮らしていくための支援 (川野委員)

(3) 相談支援の充実

4)身近で利用しやすい相談のしくみづくり

(4) 働く支援の充実 (金平委員)

6)はたらくを支援する

③ 4 検討項目について現状や課題など把握、共有・5 各項目に対する担当者の決定について、②と絡めて進行。

④ 今後の日程

・第2回地域部会 令和8年1月13～15日 会場の空き状況で決定する。

～ 現在感じている事など 今回の会議でいただいた意見 ～

- ・施設で生活している方は、現状を理解している。身元引受人がいないと地域生活が出来ない。地域で生活できる取組について難しい事に取り組んでいると思う。
- ・ケアマネージャーと連絡が取れない。(ケアマネが足りないのか、業務量の問題なのか)
- ・希望されるサービスが使えない。(入間の状況はいっぱいいっぱい)
- ・介護報酬が付かず(身体がないと報酬が付かず事業者が潰れるぐらい)大変。
A さんの利用するサービスの状況で、提供側の移動等の時間はお金にならない(問題)。
- ・相談支援事業は赤字。
- ・前回のアンケート回答の中で、個人の特化した能力に合わせた就労支援が出来ないか。
- ・市の障害者雇用についての募集状況。
- ・自立支援協議会の概要を説明。
- ・りぼん 相談支援は2法人が交代で行っている。

第2回 地域部会 会議報告書

- 1 日 時 令和8年1月15日(木)15:00 から 17:15
- 2 場 所 入間市庁舎5階 第3委員会室
- 3 出席者 黒古部会長、粕谷副部会長、岡内委員、川野委員、西尾委員、金平委員
【オブザーバー:荻野副会長】
- 4 欠席者 なし

1 各担当項目に関する現状と課題について

1)自立支援協議会での検討報告（資料:自立支援協議会 福祉プランへの提案）

・粕谷副部会長(羽搏会 自立支援協議会長)

自立支援協議会の委員や構成メンバーの説明をいただく。資料にある「地域」「こども」は自立支援協議会の部会のこと、障害者福祉審議会の地域部会に関する施策について提案を説明いただく。

【全体を通して】福祉プランを基に担当課が具体的な目標を施定位している流れのため、表現が抽象的になるのは仕方がないが、もう少し取組内容を具体化した方が良いという意見が多く上がっている。

【オブザーバー】具体的にしすぎると、目標値が高くなり、予算面で達成が出来ないものが多いことが危惧されるので、注意する点はある。

2)各担当から

基本方針 1 健康とくらしを守る施策

(1)全ての障がい者に対応した重層的な支援体制の構築 （西尾(羽搏会、相談)

1)地域生活支援の充実を図る

《1/15 出された意見や課題》

今後検討を提案する箇所

- ・主な取組(1):地域リハビリテーションの充実
- ・主な取組(1):精神障がい者をはじめ(全ての障がいの良いのでは?)
- ・主な取組(3):アウトリーチ(言葉を変更しては?)
- ・主な取組(4):自立生活援助サービス体制の整備(大事、人手不足)
- ・主な取組(6):生活介護施設の充実

《その他》

地域連携会議・・・効果が出てきていると思う

講座の取組・・・参加者に偏りはないか

ヘルパーがとにかく少ない・地活のアピール・ケース会議が大事・地域移行

医ケア児・難病者・重度、家族を含めた支援が大事

(2) 地域で安心できるくらしの支援

☎ 岡内(視覚障害者福祉協会)

2)いざという時のための支援体制を作る

3)災害時に安心して避難生活を送るために

《1/15 出された意見や課題》

・主な取組(4):防災訓練における避難支援訓練の実施に着目

《その他》

個別避難計画を自身で作成。避難訓練に参加し、介助についてレクチャーを求められた
但し、自身以外の障がい者の参加は無いようだった。

もっと、対面で意見聴取の場があると良い。

在宅避難について記載がない。

個別避難計画についてもっと地域に声掛けしてはどうか。

親の会で避難訓練を行った事があるが、会主導であった。

基本方針2 地域で暮らしていくための支援

(3) 相談支援の充実

4)身近で利用しやすい相談のしくみづくり

☎ 川野(親の会)

《1/15 出された意見や課題》

・主な取組(1):窓口の名前を入れる

《その他》

相談支援事業を変更するというより、知ってもらう方法の検討。

相談窓口はあるが分からない、知られていないことが多い。

どこでも相談はできる。そこから担当に繋がるが、知られていない。

※チラシを作成し配布準備をしている。(自立支援)

地域移行は、施設にいる人は地域に戻りたくない人がいたり、身元保証が無いと戻れない人もいる。

(4) はたらく支援の充実

6)はたらくを支援する

☎ 金平(創和・精神)

《1/15 出された意見や課題》

・主な取組(2):どの位の企業が参加し、どのくらいの希望や雇用があったのか

・主な取組(5):優先調達を推進するだけでなく洗い出しや検討がされているか

《その他》

取組状況報告を聞いてから、就労支援について現状聴取を考える。

4)他部会(子ども部会、啓発部会)へ検討してもらいたい事項

なし

5)実態把握としての支援機関訪問、支援担当者、当事者などへの聞き取りなどについて
就労支援について(審議会後相談)

2 今後の予定

① 1月15日 第2回地域部会〔各担当項目の報告、課題等の協議〕

② 2/6 第4回審議会(部会進捗状況の報告)

③ 4～5月 第3回部会

〔第4回審議会における全体協議も踏まえ、各担当の報告、検討文言検討〕

④ 5月 令和8年度第1回審議会(第2回部会の報告)

⑤ 6月 第4回部会(アンケートや審議会での協議を踏まえ、部会報告事項のまとめ)
⇒事務局に提出

⑥ 7月 令和8年度第2回審議会(部会検討事項の報告、協議)

3 次回地域部会の開催について

*次回(第3回)については、第4回審議会の後、開催の可否、開催するとしたら日程など決めたい

第3回 地域部会 会議報告書

★開催日等 2026. 4. 16 15:00～ 市役所5F 第3委員会室

★参加者 入間市障害者就労支援センターりぼんセンター長 井上氏
地域部会5人 事務局（障害者支援課 宇野、市村）

1 就労支援センターりぼんの報告（井上センター長）

◎現在の活動内容についての話

・障がい者法定雇用率の改定	2024. 4	～	2026. 7
	民間企業	2.5%	⇒ 2.7%
	公共団体	2.8%	⇒ 3.0%
	教育委員会	2.7%	⇒ 2.9%
※精神、重度身体、知的障害は10～20hで0.5%			

- ☞市では、チームで臨時的任用を行い、雇用を増やす取り組み
- ☞教育委員会での雇用は、県でも市でも未達成
- ☞精神障がい者の支援の増加とともに、定着支援が重要になっており、業務が拡大している
- ☞未達成企業の約60%が0雇用企業。企業の理解拡大が必要
- ☞「就労選択支援」は、事業として行う法人は少なく、まだまだの取り組み
- ☞支援登録者とりわけ精神障がい者の就労希望の増加、定着や生活面での支援などの業務量が増えており、活動内容など整理しているが、現状サービスの低下が心配される

2 各担当項目の検討

- ・部会長より、検討していくための基本的な考え方についての話
「検討の視点として、障がいの医療モデルから社会モデルへの転換ができているか。
障がい者の自立生活支援、地域生活の推進の方向性を考えていく」

《項目検討の観点》

- *各担当が、今までの論議、アンケート結果をもとにそれぞれの項目について協議する
すでに達成されているものは削除し、アンケート等で浮かび上がってきた項目も検討する

3 各担当者の報告をもとにした検討

1) 基本方針1 健康とくらしを守る施策

(1) 全ての障がい者に対応した重層的な支援体制の構築

施策1 地域生活支援の充実を図る

- ・精神障がい者に特化することなく、知的、重心、医ケア、難病など、すべての障がい者に対する重層的な支援体制の構築が必要
- ・地域生活拠点事業の充実（いざという時の支援体制、自立生活体験など）
- ・入所型施設や病院からの地域移行、地域定着への取り組み強化
- ・意思決定支援、コミュニケーション支援、情報アクセシビリティが安心につながる

重点課題（2）地域で安心できるくらしの支援

施策2 いざという時のための支援体制の充実

- ・避難等要支援対象者の支援のみならず、在宅避難者の把握と対する支援体制の構築
- ・医ケア児用「災害対応サポートブック」を他の障がい者へも活用できないか
- ・災害時福祉避難所開設に向けた具体的な開設訓練と当事者の防災訓練参加への取り組み強化
- ・災害時の避難、その後の避難生活に対して、障がい者の意見を反映させる仕組みづくり

施策3 安心できる地域生活の推進（仮案）

- ・医療や保健（健康づくり、予防）、防犯、介護、日常生活などに対する支援の取り組み
- ・親亡き後の安心と生活の保障についても考える必要があるのではないか
- ・福祉サービスの利用促進＝重層的な支援による自立生活への支援
- ・関係機関によるアウトリーチ手法に基づく支援の強化

基本方針2 地域で暮らしていくための支援

重点課題3 相談支援の充実

施策4 身近で利用しやすい相談のしくみづくり

- ・気軽に相談できる体制の強化、思いを受け止める相談（一般相談の充実）
- ・様々なレベルにおける相談できる場所の周知
- ・相談のネットワークによる地域生活、地域移行のキーパーソンの機能の充実
- ・福祉、医療、就労、相談など関係機関による重層的な支援会議の充実、情報共有

重点課題4 はたらく支援の充実

施策6 はたらくを支援する

- ・法定雇用率の改定や支援の複雑化、定着支援の増加等に伴う体制の充実
- ・就労支援事業所（移行、A、B）、生活介護、地域生活支援センターなどの日中活動の場
- ・就労支援事業所等から一般就労への移行促進のとりくみ
- ・教育や福祉法人と連携した就労選択支援事業の取り組みの充実
- ・市役所、教育委員会等の障がい者雇用の推進

3 今後の予定

- ① アンケート、進捗報告、審議会、部会の議論をもとに、5月29日までに各担当は素案を事務局に提出する
- ② 6月 第4回部会（第1回審議会の全体での協議を踏まえ、案について協議）
23日～26日で設定 ＊部会での議論をもとに取りまとめを事務局に提出（黒古）
- ③ 7月14日 令和8年度第2回審議会（部会検討事項の報告、協議）
- ④ 8月25日 令和8年度第3回審議会（素案検討）

以上